

2019年5月8日受信②

現在のカマ第一堰、取水口側の流れ。河川水は清流に戻り、堰の越流縁がくっきり見える。2019年5月5日





2019年4月26日 カマ第一堰





シギ排水路工事風景。湿地処理は PMS のお家芸とはいえ、軟弱地盤も千変万化、最終的な構造決定まで 4 ヶ月を要したが、やっと構造が決まり全力で・・・というところで断食月となった。半ば休戦状態だが、方針が決まれば憂いはなくなる。2019 年 5 月 4 日





排水路のライニング風景。浸潤線を約 1.5m 以上下げ、砂丘を均し、湿地が消滅したところまでは良かったが、「底なし沼の地盤改良」に絶望。地道な排水を待ち、セメントによる固化（ソイルセメント）で切り抜けた。先は長いが後は一本道。セメントの割合も現場の試験施工での決定が早道。 2019 年 5 月 7 日





ガンベリ庭園、最後の春を惜しむ。2019年5月4日





バラの満開が去ると同時に、ザクロが咲き乱れる。これを見て剪定を考えるのは我々日本人の習性だが、アフガン人は異なり、花の美しさを優先する。今回理解したことのひとつで、尊重すべきだ。日本人もかつてはそうだったのかも知れない。2019年5月4日





ミツバチたちは元気に蜜を集めている。ガンベリではビエラ→柑橘→ユーカリと、連続して開花するので格好の場所だという。酷暑になるとダラエヌールやカブール方面の高所に巣箱が移される。ユーカリが多量の蜜を含むとは知らなかった。なお、蜂の種類はイタリア系のセイヨウミツバチでした。土着種のトウヨウミツバチ系とは混在して生活し、野生化した集団もいるそうです。2019年5月4日

